

intra-mart Accel Platform / Accelシリーズ

2023 Spring アップデート情報



株式会社NTTデータ イントラマート

各要件説明ページの見方

◆◆◆に対応しました。

•○○○○○○○

-△△△

-□□□

本資料では、各要件のポイントとなる情報を要約して記載しています。詳細については、intra-mart要件情報公開サイトもしくは各製品ドキュメントをご確認ください。

intra-mart要件情報公開サイト: <https://issue.intra-mart.jp>
製品ドキュメントサイト: <https://document.intra-mart.jp>

対応内容の概要を解説した説明文、図、画像などを記載しています。

解説している対応内容のアップデートカテゴリ(「基盤」など)を表示しています。

今回のアップデートで提供された対応内容の分類を表示しています。
「アップデート」、「機能追加」、「機能強化」、「機能改善」、「情報公開」、「運用改善」など

※カテゴリ

※対応分類

要件情報公開サイトについて

intra-mart要件情報公開サイト (<https://issue.intra-mart.jp/>)

本資料では要件情報公開サイトに記載されている内容から主要なアップデート情報を記載しています。本資料に記載されていないアップデート情報や詳細を知りたい場合などに、要件情報公開サイトも合わせてご利用ください。

ホーム プロジェクト

intra-mart 要件情報公開サイト

検索: 28540

プロジェクトへ移動...

ホーム

intra-mart の各製品に関する対応要件および不具合を参照することができます。

- 下記のプロジェクト一覧、もしくは右上の **プロジェクトへ移動...** より、参照したいプロジェクト(製品)を選択してください。
- 選択したプロジェクトごとに記載されているバージョンもしくはパッチを選択して、要件(チケット)の一覧を確認可能です。
 - チケット画面の右側にある **カスタムクエリ** の一覧からも、バージョンおよびパッチによる絞り込みが可能です。
- またチケット画面では、上部にある **フィルタ** に任意の検索条件を指定することで、任意の条件でチケットの絞り込み検索が行えます。

脆弱性対策の公開要件について

脆弱性の対策を実施した要件を本サイトで公開しています。公開は、2018 Spring(Skylark)以降の要件が対象です。

脆弱性の確認方法

要件チケットに「脆弱性」の項目があり、「はい」が指定されている要件が該当します。「脆弱性」の項目は、要件を検索する条件に指定することができます。確認を行う場合は、各プロジェクトで条件を指定した上で検索を行ってください。

公開内容

- カテゴリ

日本語

カテゴリ

<https://issue.intra-mart.jp/projects/iap>
<https://issue.intra-mart.jp/projects/iac>
<https://issue.intra-mart.jp/projects/bpm>

概要 ロードマップ チケット

2021 Winter (8.0.30)

2021/12/01

Dandelion

100%

52 チケット (52件完了 - 0件未完了)

関連するチケット

- 要件 #20856: 数値型カラムの null 値の表示に関する動作を改善します。
- 要件 #22198: Boxと連携するモジュールを提供します。
- 要件 #26429: スクリプト開発フレームワークで提供しているスクリプト開発用 API の定義方法を改善します。
- 要件 #31312: IM-共通マスタ (IM-BloomMaker版) のマスタメンテナンス画面を提供いたします。
- 要件 #32564: ローヤユーザー定義、ルーティング定義の操作に関して IM-Propagation による伝搬を行うようになります。
- 要件 #32689:
- 要件 #32756: 案件操作画面から、エラーとなった案件の「案件終了処理、到達処理、メール送信処理、IMBox送信処理」を削除できるようにします。
- 要件 #32827: タスクの利用可否を設定できるようにします。

要件情報公開サイト：2023 Spring対応要件へのリンク①

製品・機能	対応要件一覧URL
intra-mart Accel Platform	https://issue.intra-mart.jp/projects/iap/issues?query id=876
Accel Studio	https://issue.intra-mart.jp/projects/accelstudio/issues?query id=878
IM-BloomMaker	https://issue.intra-mart.jp/projects/bloommaker/issues?query id=864
IM-FormaDesigner	https://issue.intra-mart.jp/projects/forma/issues?query id=865
IM-BIS	https://issue.intra-mart.jp/projects/bis/issues?query id=863
e Builder	https://issue.intra-mart.jp/projects/ebuilder/issues?query id=862
intra-mart Accel Archiver	https://issue.intra-mart.jp/projects/iaa/issues?query id=872
intra-mart Accel Collaboration	https://issue.intra-mart.jp/projects/iac/issues?query id=873
intra-mart Accel Documents	https://issue.intra-mart.jp/projects/iad/issues?query id=874
intra-mart Accel Documents Secure Download Option	https://issue.intra-mart.jp/projects/iad/issues?query id=880
intra-mart Accel Kaiden!	https://issue.intra-mart.jp/projects/iak/issues?query id=875

要件情報公開サイト: 2023 Spring対応要件へのリンク②

製品・機能	対応要件一覧URL
IM-PDFAutoConverter	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfconv/issues?query id=866
IM-PDFCoordinator	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfcrd/issues?query id=867
IM-PDFDesigner	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfdes/issues?query id=868
IM-PDFDirectPrint	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfdp/issues?query id=869
IM-PDFTimeStamper	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfds/issues?query id=870

目次

1. 追加エディション
2. システム要件
3. モバイルアプリケーション
4. Accel Platform(基盤機能)
5. Accel Studio
6. IM-BloomMaker
7. IM-Workflow
8. サービス連携
9. Accel Documents

1. 追加エディション

追加エディション

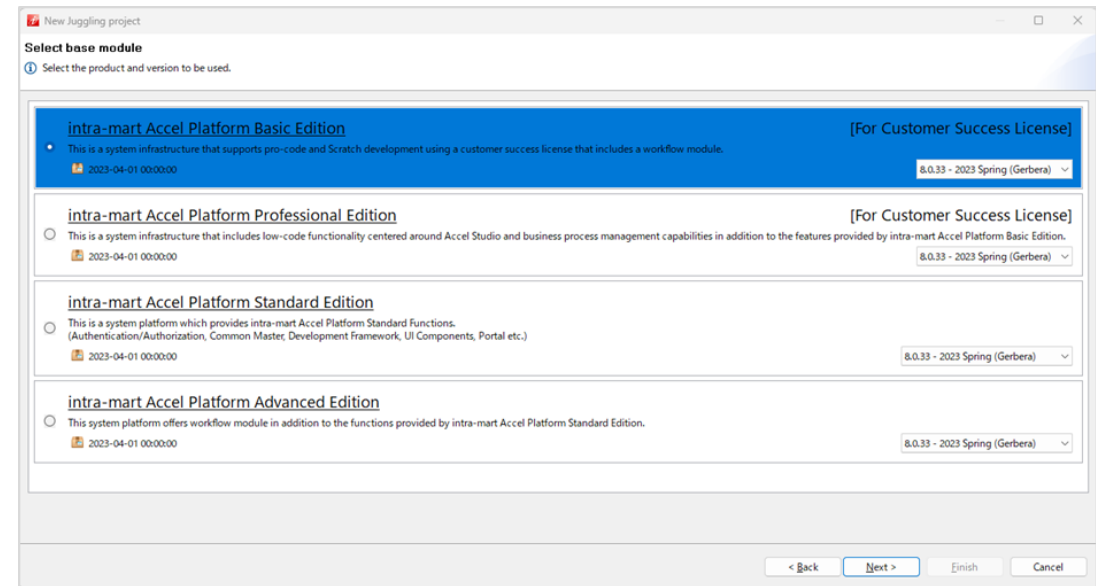
カスタマーサクセスライセンスの提供に伴う新規エディションを追加しました。

Basic エディション

- 既存のAdvancedエディション相当
- Accel Studio, IM-BIS等が利用不可

Professional エディション

- 既存のEnterpriseエディション相当



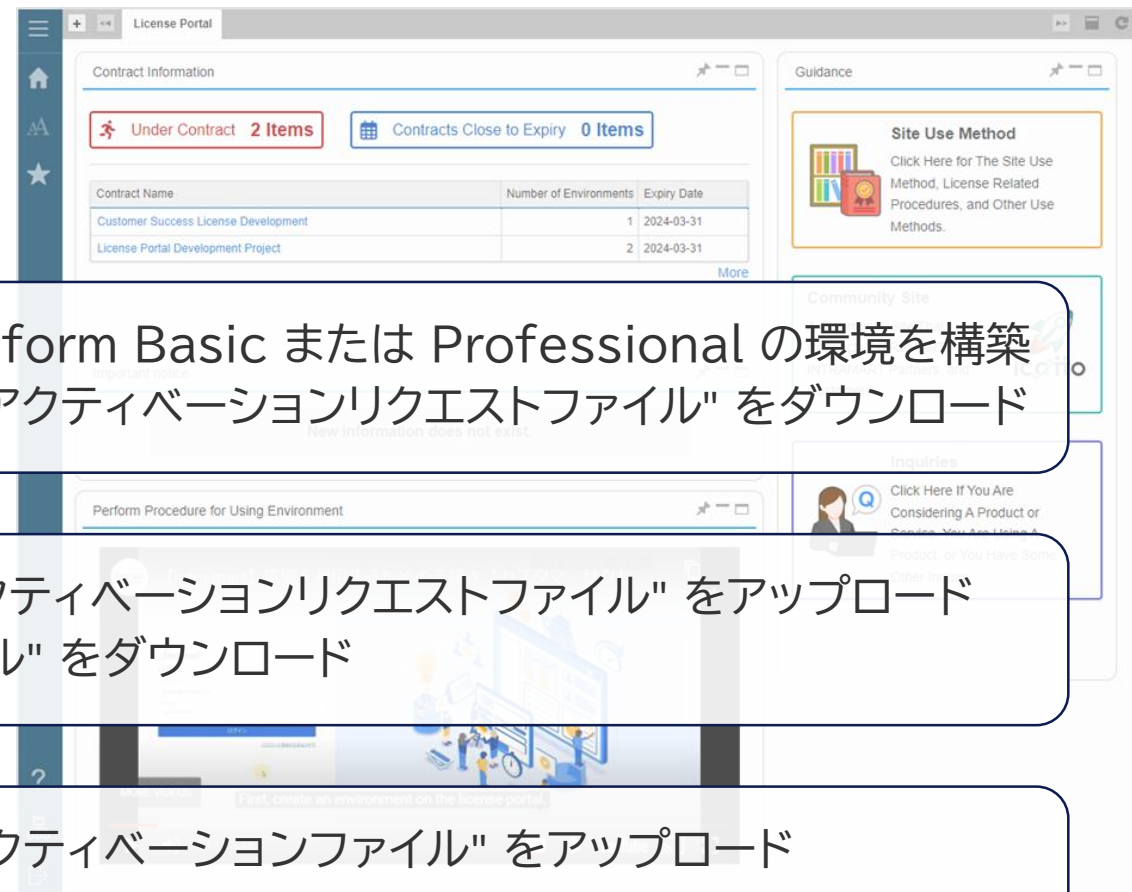
- IM-Jugglingから選択可能
- 使用許諾に変更あり
- ライセンス登録方法に変更あり

エディション
アップデート

ライセンス管理ポータルサイトの公開

ライセンスポータルサイトを公開しました。

サイト上で契約状況の確認、環境のアクティベートなどが可能です。
アクティベーションの流れは以下の通りです。



ライセンスを適用する
システム

Step1

- intra-mart Accel Platform Basic または Professional の環境を構築
- ライセンス管理画面から "アクティベーションリクエストファイル" をダウンロード

ライセンスポータル

Step2

- ライセンスポータルに "アクティベーションリクエストファイル" をアップロード
- "アクティベーションファイル" をダウンロード

ライセンスを適用する
システム

Step3

- ライセンス管理画面で "アクティベーションファイル" をアップロード

エディション
アップデート

2. システム要件

システム要件

サーバ要件

- Red Hat Enterprise Linux 9 追加
- Microsoft SQL Server 2022 追加
- PostgreSQL 15 追加

クライアント要件

- Google Chrome / Microsoft Edge 110
- macOS Ventura 追加
- macOS Catalina 削除
- iPadOS 14 削除

システム要件

アップデート

3. モバイルアプリケーション

モバイルアプリケーション、モバイルSDKをリリース



スマートフォンでAccel Platformの機能を利用可能なアプリケーションを公開しました。

Professional Editionのみ利用可

モバイルSDK (OSS)

モバイルアプリケーションの作成に必要な開発ライブラリを組み込んだモバイルSDKを公開しました。



モバイルSDKはMITライセンスの元、OSS(オープンソースソフトウェア)として公開しています。そのため、製品サポート窓口ではモバイルSDKについてのお問い合わせには対応しておりません。サポートが必要な場合は個別にお問い合わせ下さい。

モバイル
新規リリース

モバイルアプリケーションの提供機能など

インストール・セットアップについて

- Accel Platformのセットアップ時に、専用サーバモジュールの導入、及び、OAuth認証設定が必要です。
- モバイルアプリケーションはApp Store/Google Play Storeから無料でダウンロード可能です。

主な機能

- お知らせ表示
PC版と同様の手順で表示内容を設定可能です。
- アプリケーション
Accel Studioなどで作成したアプリケーションをモバイルとしても利用可能です。
メニュー設定のグローバルナビ(スマートフォン用)からアプリケーションのアイコンの表示内容を調整できます。
- ワークフロー
PC版と同様の基本機能がモバイルアプリケーション版でも利用可能になります。
一部機能(代理権限等)は今バージョン(2023 Spring)では対応していません。
- 通知
iAPサーバーからのプッシュ通知を受け取れます。

モバイル

新規リリース

モバイルSDKについて

主な機能

認証・認可(OAuth2.0)

API呼び出し/画面連携(WebView)

ログインユーザー情報

共通マスタ検索/カレンダー

利用要件

Accel Platform(Professional Edition または Accel-Mart Plus (※))

OAuth 認証モジュールの導入

モバイルアプリ向けのサーバーモジュールの導入

利用技術

ReactNative/Expo

※Accel-Mart Plusは5月以降の対応を予定しております。

モバイル

新規リリース

4. Accel Platform(基盤機能)

エンティティデータ変更履歴の表示

対応内容

IM-Repository(※1)のエンティティ(※2)をベースとして登録されたデータの変更履歴を表示可能にしました。

The screenshot shows the 'Entity Operation Log' for 'date_entity'. The table displays the following data:

更新日時	リクエストID	操作	更新ユーザ...	エンティティデータ				詳細
				time_param	date_param	timestamp_par...	code_param	
2023-03-28 12:31:51	8gr14zzg7cwo...	UPDATE	tenant	03:31:50.942	2023-03-28	2023-03-28 12:31:50	code_100	🔗
2023-03-28 12:31:51	8gr14zzg7cwo...	INSERT	tenant	03:31:50.942	2023-03-28	2023-03-28 12:31:50	code_100	🔗
2023-03-28 12:31:49	8gr14zzg7cwo...	UPDATE	tenant	03:31:49.751	2023-03-28	2023-03-28 12:31:49	code_99	🔗
2023-03-28 12:31:49	8gr14zzg7cwo...	INSERT	tenant	03:31:49.751	2023-03-28	2023-03-28 12:31:49	code_99	🔗
2023-03-28 12:31:48	8gr14zzg7cwo...	UPDATE	tenant	03:31:48.541	2023-03-28	2023-03-28 12:31:48	code_98	🔗
2023-03-28 12:31:48	8gr14zzg7cwo...	INSERT	tenant	03:31:48.541	2023-03-28	2023-03-28 12:31:48	code_98	🔗
2023-03-28 12:31:47	8gr14zzg7cwo...	UPDATE	tenant	03:31:47.277	2023-03-28	2023-03-28 12:31:47	code_97	🔗
2023-03-28 12:31:47	8gr14zzg7cwo...	INSERT	tenant	03:31:47.277	2023-03-28	2023-03-28 12:31:47	code_97	🔗
2023-03-28 12:31:46	8gr14zzg7cwo...	UPDATE	tenant	03:31:46.084	2023-03-28	2023-03-28 12:31:46	code_96	🔗

データを誰がいつ登録・更新したのかが確認できるようになります。

※1 IM-Repository: intra-mart Accel Platform上で利用される様々な用語およびそのメタデータを管理できるアプリケーション
 参考(IM-Repository ユーザ操作ガイド)[https://document.intra-mart.jp/library/iap/public/im repository/im repository user guide/texts/summary/index.html](https://document.intra-mart.jp/library/iap/public/im%20repository/im%20repository%20user%20guide/texts/summary/index.html)

※2 IM-Repositoryでのエンティティとは、意味のあるひとまとまりのデータを定義・管理する機能

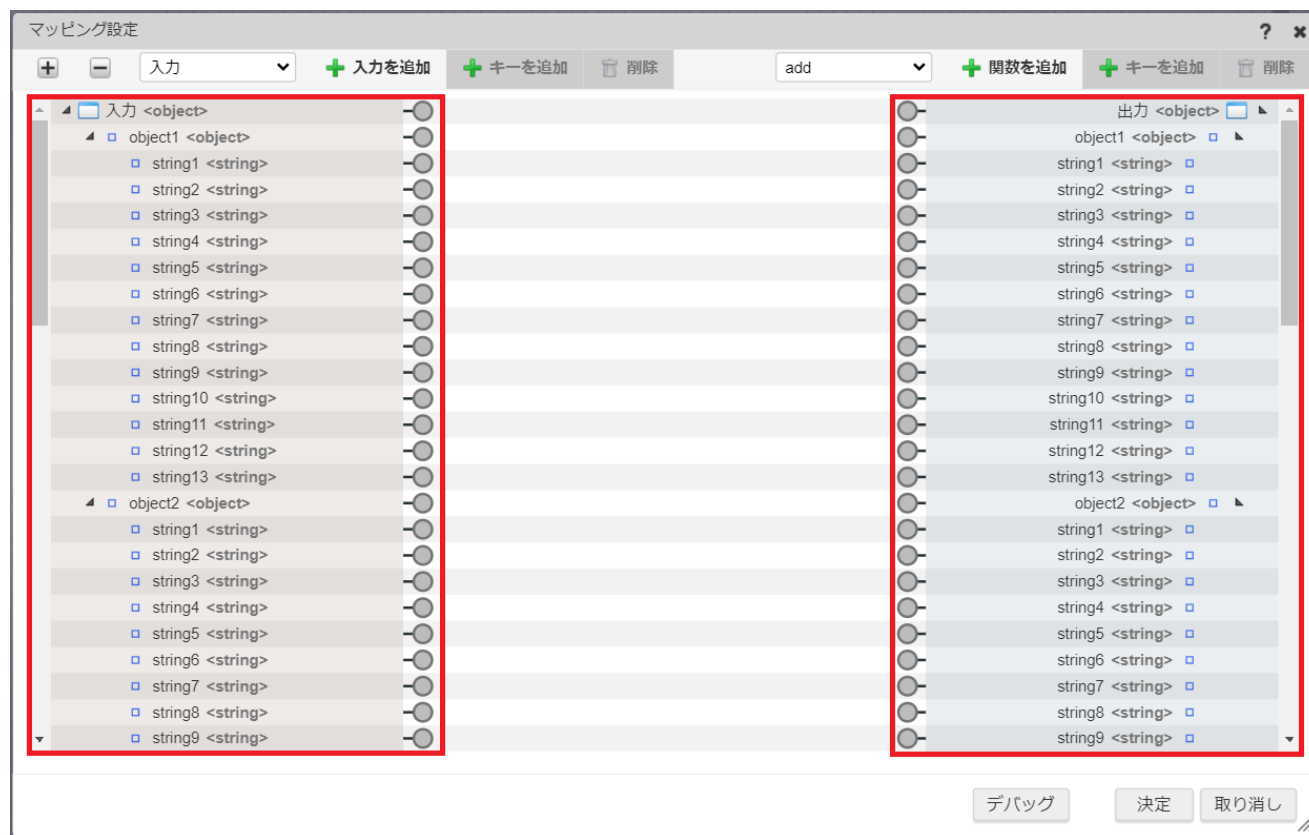
基盤

機能追加

IM-LogicDesigner マッピングダイアログ改善

対応内容

IM-LogicDesignerのマッピング設定について、入出力の要素が多い場合でもマッピングしやすいように改善しました。



基盤

機能改善

IM-LogicDesigner マッピングダイアログ改善

対応内容

プロパティ名を変換する関数を追加しました。

The screenshot shows the 'Mapping Settings' dialog in IM-LogicDesigner. The left pane shows the source object 'records' with properties: user_cd <string>, locale_id <string>, term_cd <string>, start_date <sqldate>, end_date <sqldate>, user_name <string>, user_search_name <string>, sex <string>, and country_cd <string>. The right pane shows the target object 'users' with properties: userCd <string>, localeId <string>, termCd <string>, startDate <date>, endDate <date>, userName <string>, userSearchName <string>, sex <string>, and countryCd <string>. A mapping is shown from 'records' to 'users' with a 'toLowerCaseCase' function applied to the 'user_cd' property. The function is represented by a blue box with 'object' on the left and 'out' on the right. A red box highlights the 'user_cd' property in the source and 'userCd' in the target. The dialog title is 'マッピング設定' and the function name is 'toLowerCaseCase'.

プロパティのケースが異なる場合のマッピングがプロパティごとからオブジェクトごとにマッピングできるようになります。

基盤

機能追加

IM-LogicDesigner デバッグログ出力機能

対応内容

ロジックフローのデバッグログ出力機能を追加しました。

ログはテナントDBに保管され、削除ジョブで削除可能です。

ログは画面上からダウンロード可能です。

Execution Date and Time	Log Level	Flow Definition ID	Flow Definition Name	Flow Version	Event	Task ID	Execution User	Details
2023/03/29 13:40:45.428	ERROR	app1-refer	app1 reference process	1	Flow Error End		tenant	
2023/03/29 13:40:45.427	DEBUG	app1-refer	app1 reference process	1	End Task	im_logger1	tenant	
2023/03/29 13:40:45.427	WARN	app1-refer	app1 reference process	1	Log Output Task	im_logger1	tenant	
2023/03/29 13:40:45.426	DEBUG	app1-refer	app1 reference process	1	Start Task	im_logger1	tenant	
2023/03/29 13:40:45.426	DEBUG	app1-refer	app1 reference process	1	Start Flow		tenant	
2023/03/29 13:32:07.875	ERROR	app1-refer	app1 reference process	1	Flow Error B		tenant	
2023/03/29 13:32:07.865	DEBUG	app1-refer	app1 reference process	1	Start Flow		tenant	
2023/03/29 13:30:16.540	DEBUG	app1-refer	app1 reference process	1	End Flow		tenant	
2023/03/29 13:30:16.525	DEBUG	app1-refer	app1 reference process	1	End Task	im_repositoryGe...	tenant	
2023/03/29 13:30:16.521	DEBUG	app1-refer	app1 reference process	1	Start Task	im_repositoryGe...	tenant	
2023/03/29 13:30:16.517	DEBUG	app1-refer	app1 reference process	1	Start Flow		tenant	
2023/03/29	DEBUG	app1-refer	app1 reference process	1	End Flow		tenant	

開発フェーズにおけるフローのデバッグや、運用時のエラー究明に利用することを想定しています。

基盤

機能追加

IM-LogicDesigner デバッグログ出力機能 – 設定例

デバッグ対象のフローを事前に選択してからフローを実行することで、ログが出力されます。

The screenshot displays the 'Debug Log Output Management - Log Output Target Settings' screen in IM-LogicDesigner. The main area contains a table with the following data:

Category Name	Flow Definition ID	Flow Definition Name	Log Output Target Settings
Created from business template	app1-delete	app1 deletion process	<input checked="" type="checkbox"/>
Created from business template	app1-edit	app1 edit process	<input type="checkbox"/>
Created from business template	app1-list	app1 list acquisition process	<input type="checkbox"/>
Created from business template	app1-refer	app1 reference process	<input checked="" type="checkbox"/>
Created from business template	app1-register	app1 registration process	<input checked="" type="checkbox"/>

The right-hand panel includes search filters:

- Application ID: app1
- Category Name: [Search field]
- Flow Definition ID: [Search field]
- Flow Definition Name: [Search field]
- Show Only Flows with Log Output Enabled
- Buttons: Search, Clear

At the bottom, there is a pagination control showing '1 of Pages 1', 'Page', '50', and 'Display 1 - 5 Out of 5 Items'.

基盤

機能追加

IM-LogicDesigner デバッグログ出力機能 – 表示例

フローやタスクの入出力値、エラーメッセージ、エラー発生時のスタックトレースなどが出力されます。

The screenshot shows the 'Log Details' window for a successful execution. The execution date and time is 2023/03/29 13:30:13.920, and the log level is DEBUG. The flow definition name is 'app1 list acquisition process' and the ID is 'app1-list'. The flow version is 1, and the event is 'End Flow'. The task ID is empty, and the execution user is 'tenant'. The input value is 'null', and the output value is a JSON array of records: [{"pk": "aa", "num1": 1}, {"pk": "bb", "num1": 123}].

Execution Date and Time	2023/03/29 13:30:13.920	Log Level	DEBUG
Flow Definition Name	app1 list acquisition process	Flow Definition ID	app1-list

Log Summary | Stack Trace | [Open The Flow Editing Screen](#)

Flow Version	1	Event	End Flow
Task ID		Execution User	tenant

Input Value: null

Output Value: [{"records": [{"pk": "aa", "num1": 1}, {"pk": "bb", "num1": 123}]}]

Close

The screenshot shows the 'Log Details' window for an error execution. The execution date and time is 2023/03/29 13:40:45.428, and the log level is ERROR. The flow definition name is 'app1 reference process' and the ID is 'app1-refer'. The flow version is 1, and the event is 'End Flow'. The task ID is empty, and the execution user is 'tenant'. The error message is '[E.IWPLGIC.FLOW.00098] Reached to abnormal end task. (This is an error message.)'. The stack trace shows the error occurred in the 'jp.co.intra_mart.foundation.logic.exception.ErrorEndElementException' class.

Execution Date and Time	2023/03/29 13:40:45.428	Log Level	ERROR
Flow Definition Name	app1 reference process	Flow Definition ID	app1-refer

Log Summary | Stack Trace | [Open The Flow Editing Screen](#)

[E.IWPLGIC.FLOW.00098] Reached to abnormal end task. (This is an error message.)

```
jp.co.intra_mart.foundation.logic.exception.ErrorEndElementException: [E.IWPLGIC.FLOW.00098] Reached to abnormal end task. (This is an error message.)
    at jp.co.intra_mart.foundation.logic.element.base.ErrorEndElement.execute(ErrorEndElement.java:58)
    at jp.co.intra_mart.system.logic.impl.StandardLogicSession.getNextElement(StandardLogicSession.java:347)
    at jp.co.intra_mart.system.logic.impl.StandardLogicSession.execute(StandardLogicSession.java:192)
    at jp.co.intra_mart.system.logic.rest.router.LogicFlowRestExecutor.executeLogic(LogicFlowRestExecutor.java:102)
    at jp.co.intra_mart.system.logic.rest.router.LogicFlowRestExecutor.execute(LogicFlowRestExecutor.java:80)
    at jp.co.intra_mart.system.logic.rest.router.LogicFlowRestExecutor.doExecute(LogicFlowRestExecutor.java:64)
    at jp.co.intra_mart.foundation.router.GenericAction.execute(GenericAction.java:73)
    at jp.co.intra_mart.foundation.router.GenericAction.access$000(GenericAction.java:17)
    at jp.co.intra_mart.foundation.router.GenericAction$GenericActionFilterChain.doFilter(GenericAction.java:32)
    at jp.co.intra_mart.system.logic.rest.router.filter.LogicFlowAuthzActionFilter.doFilter(LogicFlowAuthzActionFilter.java:50)
    at jp.co.intra_mart.foundation.router.GenericAction.execute(GenericAction.java:66)
    at jp.co.intra_mart.foundation.router.GenericAction.execute(GenericAction.java:71)
    at jp.co.intra_mart.foundation.router.GenericAction.access$000(GenericAction.java:17)
    at jp.co.intra_mart.foundation.router.GenericAction$GenericActionFilterChain.doFilter(GenericAction.java:32)
    at jp.co.intra_mart.system.logic.rest.router.filter.LogicFlowInvalidCookieActionFilter.doFilter(LogicFlowInvalidCookieActionFilter.java:35)
    at jp.co.intra_mart.foundation.router.GenericAction.execute(GenericAction.java:66)
    at jp.co.intra_mart.foundation.router.GenericAction.execute(GenericAction.java:71)
    at jp.co.intra_mart.foundation.router.GenericAction.access$000(GenericAction.java:17)
    at jp.co.intra_mart.foundation.router.GenericAction$GenericActionFilterChain.doFilter(GenericAction.java:32)
    at jp.co.intra_mart.system.logic.rest.router.filter.LogicFlowBasicAuthenticationActionFilter.doFilter(LogicFlowBasicAuthenticationActionFilter.java:50)
    at jp.co.intra_mart.foundation.router.GenericAction.execute(GenericAction.java:66)
    at jp.co.intra_mart.foundation.router.GenericAction.execute(GenericAction.java:71)
```

Close

基盤

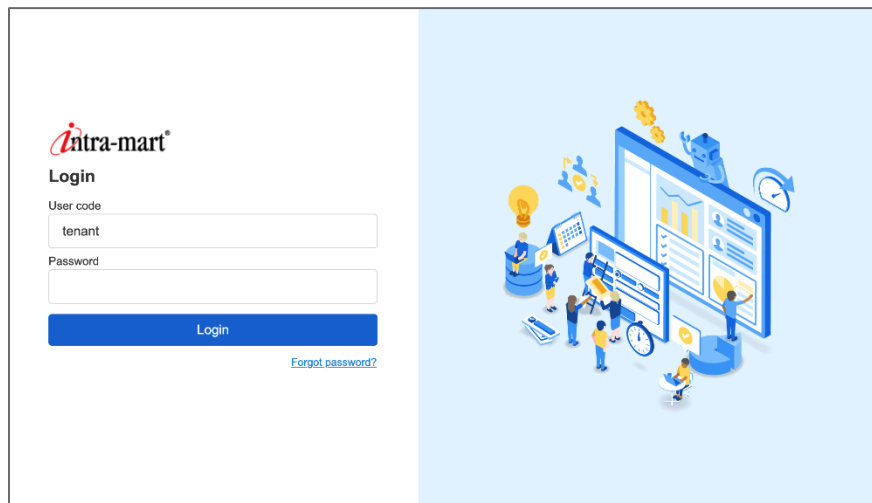
機能追加

新ログイン画面の追加、既存ログイン画面の改善

新たなログイン画面が追加されます。

「ログイン画面2カラムデザイン」モジュールを選択することで利用可能です。

- ログ、イメージ画像、タイトルを変更可能
- 「お知らせ欄」で、ログインしようとしているユーザに情報の伝達が可能



「ログイン画面2カラムデザイン」のログイン画面

既存ログイン画面のUI/UXが改善されます。

改善点は以下のとおりです。

- ログイン画面
 - UIの改善
- SAML認証ボタン
 - デザイン修正およびキーボードでのボタン操作
- ログインポートレット
 - UIの改善
- ログインポートレット内のSAML認証ボタン
 - デザイン修正およびキーボードでのボタン操作
- 多要素認証画面
 - TABキー押下時のフォーカス順を変更

UI/UX改善

機能追加

5. Accel Studio / Accel Studio テンプレート

アプリケーション公開・非公開の仕様変更

対応内容

アプリケーションの公開・非公開の機能を撤廃し、リソースの全閉塞および全閉塞解除を実行する機能を追加しました。

Resource	Certification		Department		Role	Action		
	Guest User	Authenticated User	SampleCompany	OtherCompany		Block All Resources	Remove Blockage of All Resources	
【Screen URL】								
app1 Registration Screen	×	×	×	×	✓	×	×	×
app1 Reference Screen	×	×	×	×	✓	×	×	×
app1 List Screen	×	×	×	×	✓	×	×	×
app1	×	×	×	×	✓	×	×	×
GET accel-studio-app/app1	×	×	×	×	✓	×	×	×
GET accel-studio-app/app1/list	×	×	×	×	✓	×	×	×
PUT accel-studio-app/app1	×	×	×	×	✓	×	×	×
DELETE accel-studio-app/app1	×	×	×	×	✓	×	×	×

- 2022 Winter まで存在した「アプリケーションの公開・非公開」機能は削除されました。
- 2023 Spring からは、アプリケーションに紐づく「リソースの全閉塞・閉塞解除」機能が提供されます。
- 閉塞されているリソースは、認可設定画面で確認することができるようになりました。

Accel Studio

仕様変更

Accel Studio – その他の対応

- 「シンプルなワークフロー」テンプレートで生成されるアプリケーションで、添付ファイルを利用する場合はワークフロー標準のものを利用するようにします。
 - IM-BloomMaker のファイルアップロードエレメントを利用した実装から変更しました。

【対応背景】

シンプルなワークフローテンプレートから作成されるアプリのユーザデータが全文検索クローラの対象となるようにするために対応しました。

- テンプレートで作成されるアプリケーションにおいて、生成されるカラム数の上限を増加します。
 - カラム数を増やしすぎた場合、画面が崩れてしまうため、アプリケーション作成後に修正が必要です。

Accel Studio

仕様変更

Accel Studioテンプレート – タスク管理アプリ

対応内容

グラフ表示機能が追加されます。
データベースへのアクセスや検索処理を含めた、グラフ作成のサンプルとして活用いただけます。

The screenshot displays the Accel Studio task management application interface. The top section shows a list of tasks with columns for ID, title, status, priority, assignee, reviewer, progress, due date, and creation date. The bottom section shows a detailed view of a task with a pie chart titled 'タスクの割合' (Task Ratio) showing the distribution of task statuses: 完了 (43.64%), 着手中 (4.15%), レビュー待ち (4.15%), 保留 (9.09%), and 却下 (9.09%).

#	タイトル	ステータス	優先度	担当者	レビュアー	進捗率	期日	作成日
264	アプリケーションのデザイン調整を行います。	着手中	高の			60	2023/02/27	2023/02/01 11:00
263	アプリケーションに機能を追加します。	却下	低の			0	2023/02/24	2023/02/01 10:00
262	アプリケーションのドキュメントを作成します。	新規	普通			0	2023/03/16	2023/01/06 17:00
261	結合試験での不具合を修正します。	新規	普通			0	2023/03/08	2023/01/06 16:00
260	結合試験を行います。	着手待ち					2023/03/03	2023/01/06 14:00
259	結合試験項目書を作成します。	保留	普通			40	2023/03/01	2023/01/06 11:00
258	単体試験での不具合を修正します。	レビュー待ち	緊急			80	2023/02/28	2023/01/06 11:00
257	単体試験を行います。	終了	普通			100	2023/02/24	2023/01/06 10:00
256	単体試験項目書を作成します。	終了	普通					
255	IM-BloomMakerで詳細画面を作成します。	終了	普通					
254	IM-BloomMakerで一覧画面を作成します。	終了	高の					

The detailed view shows a task titled 'IM-BloomMakerで一覧画面を作成します。' with a status of '完了' (Completed). The pie chart 'タスクの割合' (Task Ratio) shows the following distribution:

- 完了 (Completed): 43.64%
- 着手中 (In Progress): 4.15%
- レビュー待ち (Review Pending): 4.15%
- 保留 (On Hold): 9.09%
- 却下 (Rejected): 9.09%

Accel Studio

機能追加

Accel Studioテンプレート – カタログ詳細の追加

対応内容

各テンプレート内容や作成方法、利用方法、活用例を説明するドキュメントを追加します。

テンプレートカタログ(既存)

4.1.2. サンプルアプリケーション

そのままでも簡易的なアプリケーションとして利用できるようなテンプレートです。作成された画面・処理をカスタマイズすることで、ニーズに沿ったアプリケーションにもできます。「サンプルアプリケーション」の一覧は以下の通りです。



打刻アプリ
モバイル端末やPCから出退勤の打刻を行い、その履歴を証拠として参照できるアプリケーションです。

IAP Plus Quick



在庫管理
バーコードを利用して商品管理ができるアプリケーションです。
※このテンプレートは「/」環境では利用できません。

IAP Plus Quick

テンプレートカタログ詳細(新設)

5.1.1.1. 打刻アプリ

このページでは「打刻アプリ」テンプレートの概要、アプリケーション作成手順、画面イメージ、操作方法と活用例について解説します。

目次

- 「打刻アプリ」テンプレートとは
- 「打刻アプリ」テンプレートの利用方法
 - アプリケーションの作成手順
 - アプリケーションのアクセス手順
 - アプリケーションの画面イメージと操作方法
- テンプレートの活用例

5.1.1.1. 「打刻アプリ」テンプレートとは



「打刻アプリ」テンプレートは、モバイル端末やPCから出退勤の打刻を行い、その履歴を参照できるアプリケーションです。



5.1.1.2.4. テンプレートの活用例

「打刻アプリ」テンプレートを活用したアプリケーションの例をご紹介します。

5.1.1.2.4.1. 例：勤務時間管理アプリケーション

打刻時に、作業カテゴリや作業内容を入力できるようにすることで、各作業を管理するアプリケーションを作成できます。

打刻画面

- 作業カテゴリと作業内容を入力して打刻ができます。
- 出勤・退勤ではなく開始・終了にすることで、より詳細な作業管理に使用することもできます。



Accel Studio

改善

6. IM-BloomMaker

IM-BloomMaker - 仕様変更

対応内容

コンテナページ(デザイナー画面のタブ)の切り替えがページ遷移と同じ扱いに変更されます。

【注意事項】

この仕様変更は、エレメント「排他制御」のプロパティ「lockOnJoin」「unlockOnLeave」に影響が及ぶ場合があります。影響する例は以下の通りです。

影響例

排他制御エレメントを配置したコンテナページ(A)と、別ページ表示用のコンテナページ(B)の両方を含むコンテンツ定義を作成して、A から B へコンテナページの表示を切り替えた場合の挙動が異なります。

- 2022 Winter以前
排他制御エレメントの「unlockOnLeave」プロパティが有効の場合、ロックが解除されません
- 2023 Spring以降
排他制御エレメントの「unlockOnLeave」プロパティが有効の場合、ロックが解除されます

リッチテーブル - datasourceにlabel属性を追加

対応内容

string, integer, double, fraction, date 型の dataSource に label 属性が追加されます。

既存の value 属性を内部値とし、画面上の表示には label 属性を使用可能とするように改善します。これにより、表示上は '20KB', '10MB' などの文字列表記であっても、内部値の数値でソートを可能とします。制限として、label 属性が使用されている場合は、リッチテーブル上での直接編集はできません。

column1 ⚡	column2 ⚡	column3 ⚡	column4 ⚡	column5 ⚡
1cm	2cm	3cm	4cm	5cm
2cm	3cm	4cm	5cm	6cm
5cm	6cm	7cm	8cm	9cm
10cm	12cm	14cm	15cm	16cm

⏪ < Page 1

column1を値でソートした状態のリッチテーブルです。
value値は表示された文字列から”cm”を削除したデータが格納されています。
文字列でソートすると 10cm, 1cm, 2cm, 5cm の順に表示される。

IM-BloomMaker

機能追加

リッチテーブル - 数値のフォーマット機能を追加

対応内容

フォーマットした数値を文字列として表示する機能が追加されます。

エレメント「数値入力(フォーマット)」と同じフォーマット形式が利用可能です。

ソート処理は、フォーマットされた文字列ではなく数値でソートされます。

フォーマット例

comma, period ▾	period, comma ▾	user definition ▾
123,456,789.123	345.678.901,012	567'890'123.456
987,654,321.098	765.432.109,876	654'321'098.765

Page 1 of 1 10 Display 1 - 2 out of 2 items

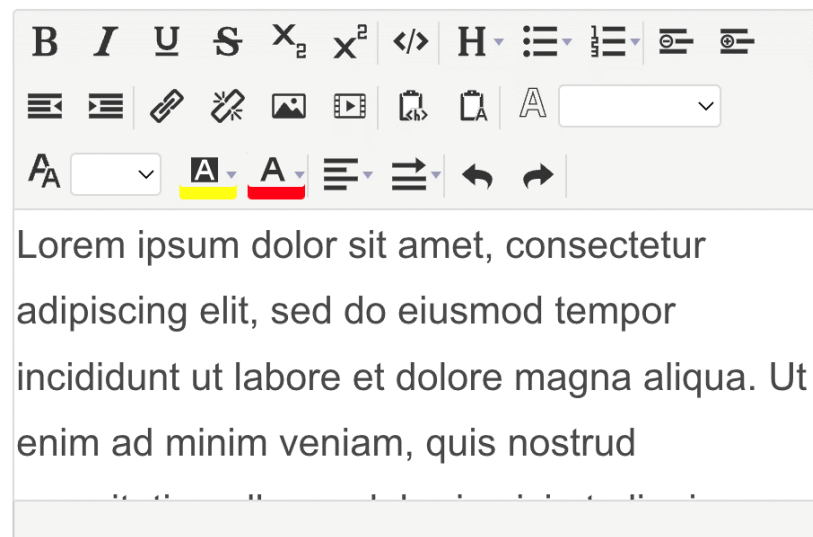
リッチテキストボックス – ヘッダ・フッタの表示制御

対応内容

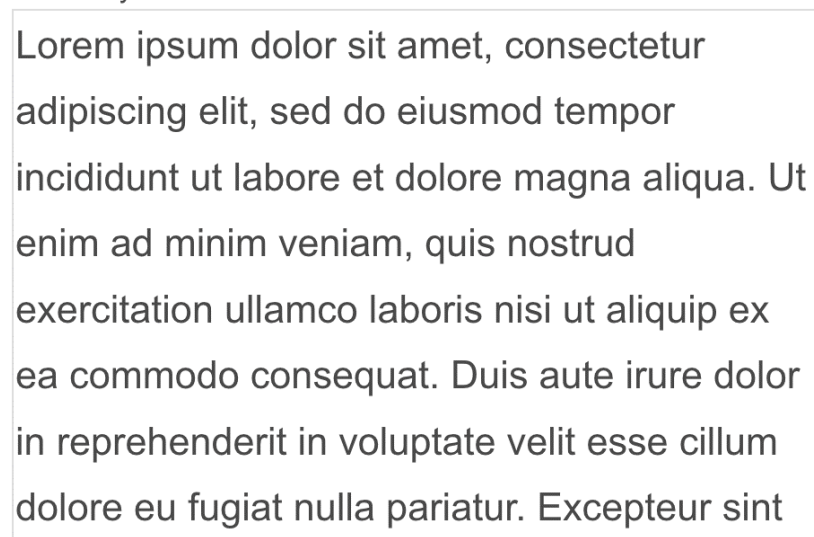
リッチテキストボックスのヘッダ・フッタの表示・非表示を切り替えるプロパティが追加されます。

リッチテキストボックスをHTMLビューワとして利用する際など、読み取り専用モードにした時に不要なヘッダ・フッタを非表示にできます。

Editable



Readonly

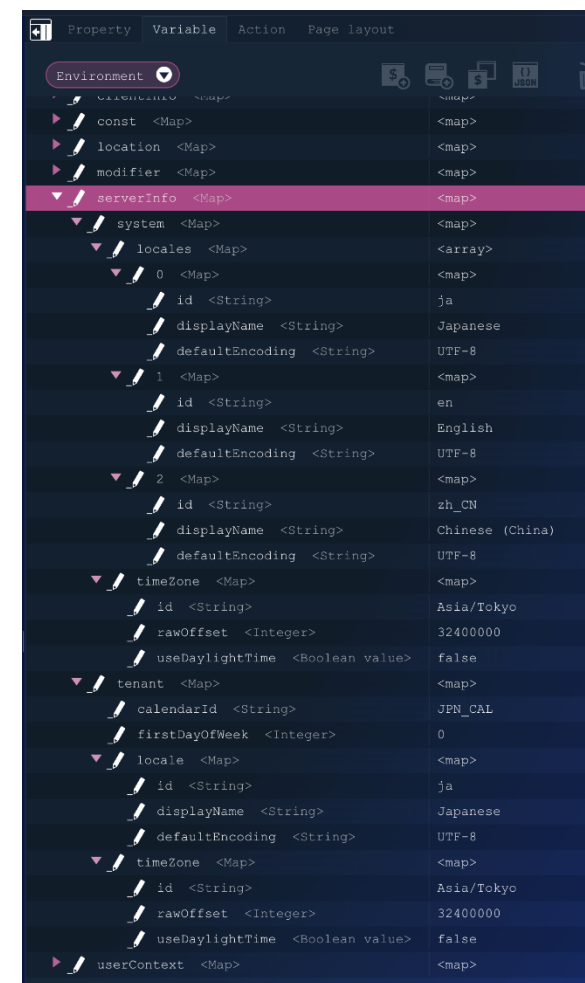


システムロケール等の情報を「環境」変数に追加

対応内容

変数「環境」にサーバ情報(serverInfo)が追加されます。
以下の情報が取得可能です。

- システムロケール一覧
- システムタイムゾーン
- テナント標準カレンダーID
- 週の開始曜日
- テナントロケール
- テナントタイムゾーン



IM-BloomMaker

機能追加

ファイルアップロードのボタンのラベルを変更可能に

対応内容

エレメント「ファイルアップロード」「マルチファイルアップロード」のファイル選択ボタンのラベルの変更が可能になります。

ただし、プロパティ「readonly」が有効な場合は指定された文字列は利用されません。変更しない場合は、デフォルトの文字列「ここをクリックしてファイルを選択」が表示されます。

 ここをクリックしてファイルを選択

標準の文字列の場合

 XYZ関連の請求書を選択してください。

変更した文字列の場合

IM-BloomMaker

機能改善

日付入力・時刻入力エレメント

対応内容

日付入力・時刻入力エレメントで、不正な日付が入力された場合に「Invalid Date」を変数に代入するオプションが追加されます。

これにより、本当に未入力状態なのか、不正な日付でエラー状態なのかをチェック可能になります。

不正な日付を Invalid Date として扱う

変数の値 : Invalid Date

不正な日付を Null として扱う

変数の値 :

サイドメニューエレメントの強制非表示

対応内容

クエリパラメータを指定することでサイドメニューコンテナを非表示にする機能が追加されます。

コンテンツ種別「Bulma」、「Bulma Theme Colored」を利用する場合、サイドメニューコンテナを利用することがあります。サイドメニューコンテナを含んだコンテンツを子画面に表示する際など、サイドメニューコンテナが不要な場合があります。

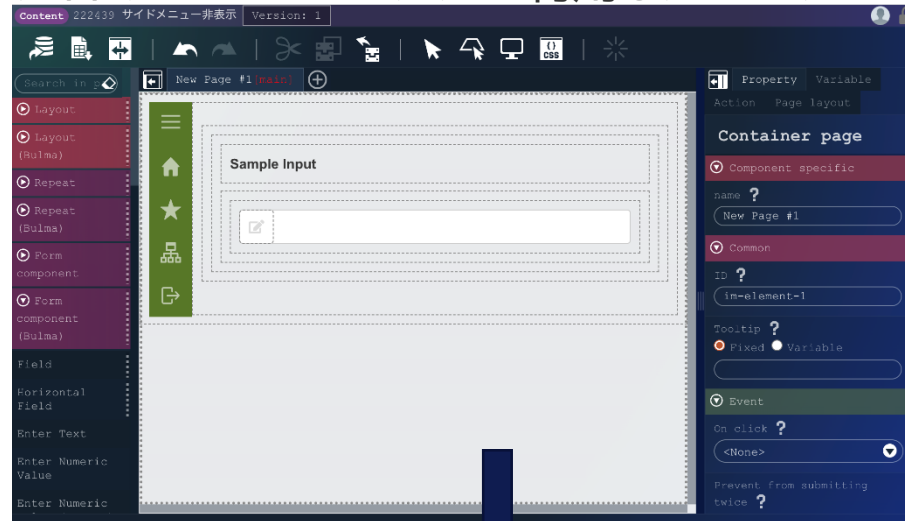
プロパティ「showSideBar」を利用することで制御可能ではありますが、リクエストへのクエリパラメータでも制御できるように改善します。

ルーティング定義として作成したURLにクエリパラメータとして「imui-theme-builder-module=headwithcontainer」を追加してください。

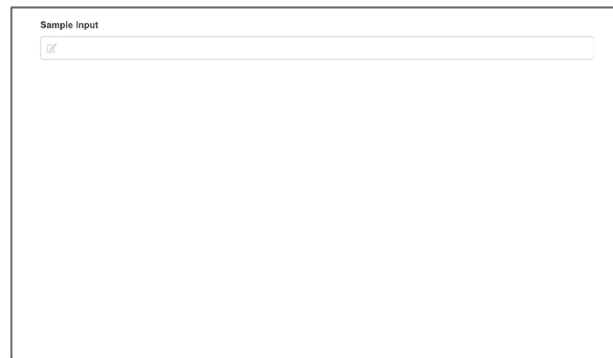
また、モバイルアプリケーション内で表示する場合は強制的にサイドメニューコンテナを非表示にします。

サイドメニューエレメントの強制非表示 - 非表示の例

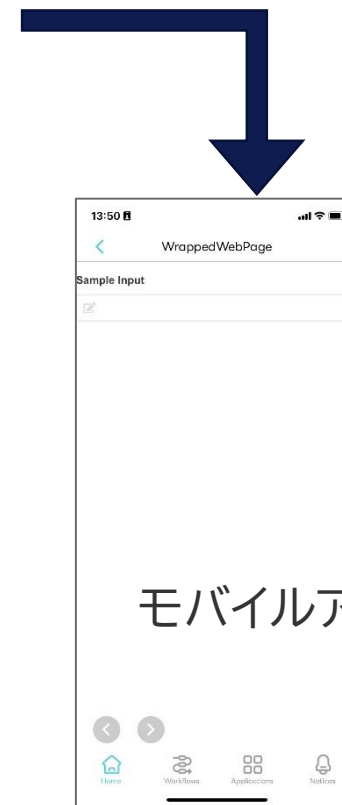
サイドメニューコンテナを利用したコンテンツ



PC で表示した場合



クエリパラメータ付きURLをPCで表示した場合



モバイルアプリで表示した場合

IM-BloomMaker

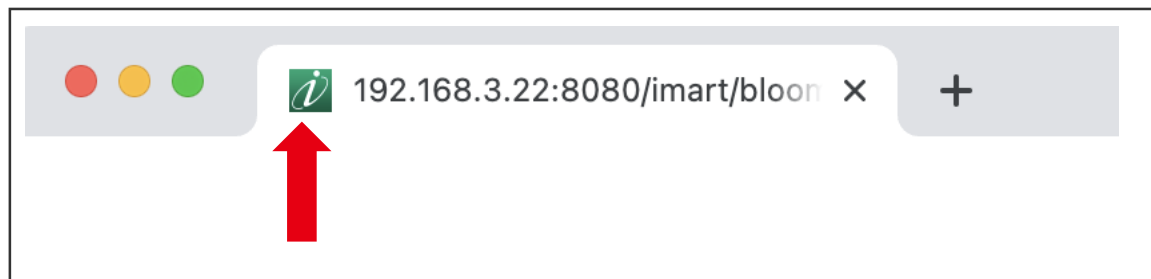
機能追加

その他の機能追加・改善点

対応内容

- コンテナの設定に「ページアイコン」プロパティを追加

Web サーバに配置したアイコンの URL を指定することで、favicon として表示することができるようになりました。



- 設計書出力のパフォーマンス改善

設計書出力の処理を見直し、処理にかかる時間を短縮しました。

7. IM-Workflow

Accel Studioのワークフロー管理画面を改善

対応内容

ノードに対する設定が必要なことを表す通知が表示されます。

ノードを追加した場合や、ノードIDを変更した場合などに表示されます。

The screenshot displays the 'Node List' tab in Accel Studio. A red box highlights the 'Error' tab and a notification badge showing '5'. The main area shows a list of nodes with their respective error messages:

Node/ Flow	Input Error Information	Details
Branch start node Start branch dzdwjttlrn9q00v	Branch Start Method ⚠ Not Set	
Approval node approve approve	Node Arrive Process ⚠ Logic Flow Does Not Exist.	
Arrange vertically node Arrange vertically ss5qi7mq88pnjk9	Node That Can Be Set as Target Person ⚠ Not Set Process Screen ⚠ Not Set Process Screen (for Smartphone) ⚠ Not Set	

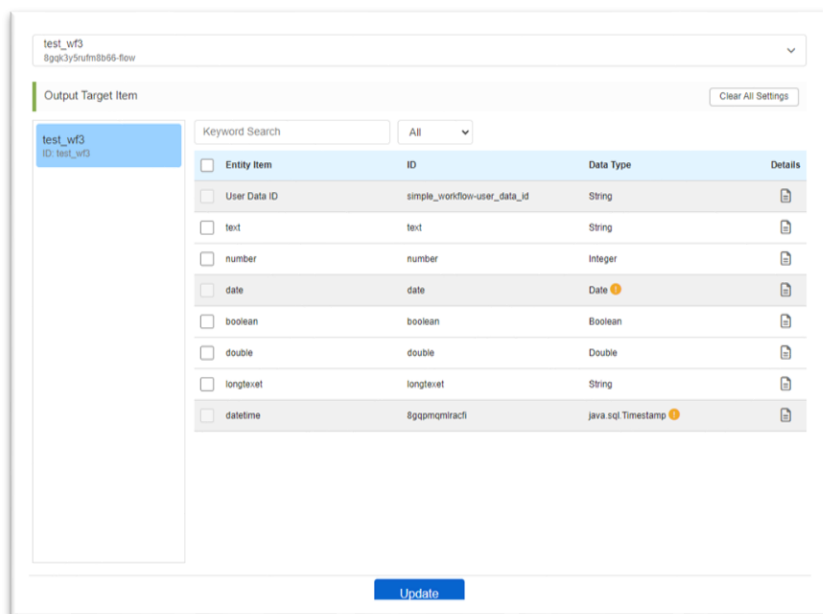
IM-Workflow

機能改善

ワークフロー内のユーザデータを全文検索対象に

対応内容

ワークフローテンプレートで作成したワークフロー内のユーザデータが全文検索で検索可能になります。



検索対象フロー、対象ユーザデータを設定。
(Forma全文検索相当)



IM-Workflow

機能改善

非同期処理で出力されたログを表示できるように

対応内容

案件操作画面に、「案件終了処理、到達処理」で出力されたログが表示されます。

Operate matter

Delete matter Node position Details Flow History Export **Log**

Matter Number: 000000010
Matter name: te
Applicant: aoyagi tatsumi

Matter Referrer

Edit	Re-expand	Status	Enabled	Node name	Confirm status
		✓	✓	start	
		✓	✓	apply	
		✓	✓	approve	
		✓	✓	end	

Executing flow: Master flow

```
graph LR; start((start)) --> apply[apply]; apply --> approve[approve]; approve --> end((end));
```

Log Information List

Execution Date and Time	Log Level	Execution User Name	Log Message
2023/03/16 16:03	ERROR	aoyagi tatsumi	[1] 到達処理に指定したロジックフローの実行中にエラーが発生しました。フローID: error_test、バージョン番号:-
2023/03/16 16:03	ERROR	aoyagi tatsumi	[0] [E.IMW.LOGIC.FLOW.00098] 異常終了タスクに到達しました。(到達処理エラー)
2023/03/16 16:03	ERROR	aoyagi tatsumi	[Engine - Thread]スレッドタスク実行で例外が発生しました。systemMatterId = ma_8gqk7cilefrdi66、nodeId = approve、threadId = 364、threadTaskId = 1

Details

Execution Date and Time	2023/03/16 16:03:31	Log Level	ERROR	Execution User Name	aoyagi tatsumi
Log Message	[1] 到達処理に指定したロジックフローの実行中にエラーが発生しました。フローID: error_test、バージョン番号:-				
Log Message Key	E.IMW.PLUGIN.PROCESS.ARRIVE.10001				
Stack Trace	Stack trace linked with specified log does not exist.				

作成した各種ユーザプログラムのエラー戻り値が確認可能

IM-Workflow

機能追加

メッセージ定義に置換文字列を追加

対応内容

引戻し時に、引戻し元ノードの処理者に対してのメッセージ通知が可能になります。

メッセージ通知例

The following matter has been Withdraw by aoyagi.
As a result, recipients of this notification do not need to take any of the following actions.

<Nodes that No Longer Require Process> approve

[Matter Information]

<Flow Name> sample
<Matter Number> 00001
<Matter Name> sample workflow

<This message is also sent to the following users.>
Ikuta,ueda,hayashi

<Process Waiting Node> apply
<Preprocessing Node Name> approve

IM-Workflow

機能改善

8. サービス連携

Box連携機能のLogicDesignerタスクを追加

対応内容

以下のBox連携用のLogicDesignerタスクが追加されます。



コラボレーション付与・更新	ユーザのフォルダ権限を付与・更新します。
コラボレーション削除	ユーザのフォルダ権限を削除します。
埋め込みウィジェットタグ取得	Box埋め込みウィジェットタグを取得します。
ファイル・フォルダID取得	ファイルIDまたはフォルダIDを取得します。

他、不具合の修正、Box Java SDKのバージョンアップ(3.7.1→4.0.0)を実施しました。

サービス連携

機能改善

一般ユーザ向けのIM-共通マスタのREST APIの提供

対応内容

一般ユーザ向けのIM-共通マスタのREST APIが利用可能になります。

このREST APIを利用することで、IM-BloomMakerの画面でIM-共通マスタを利用した機能の作成がしやすくなります。

ユーザ、ロール、組織、パブリックグループのAPIを提供しています。

提供するREST APIの詳細はAPIドキュメントサイトをご確認ください。

API Documentation - IM-共通マスタ(一般ユーザ向け)

https://api.intra-mart.jp/iap/im_master_general_rest/index.html

IM-BloomMaker

機能改善

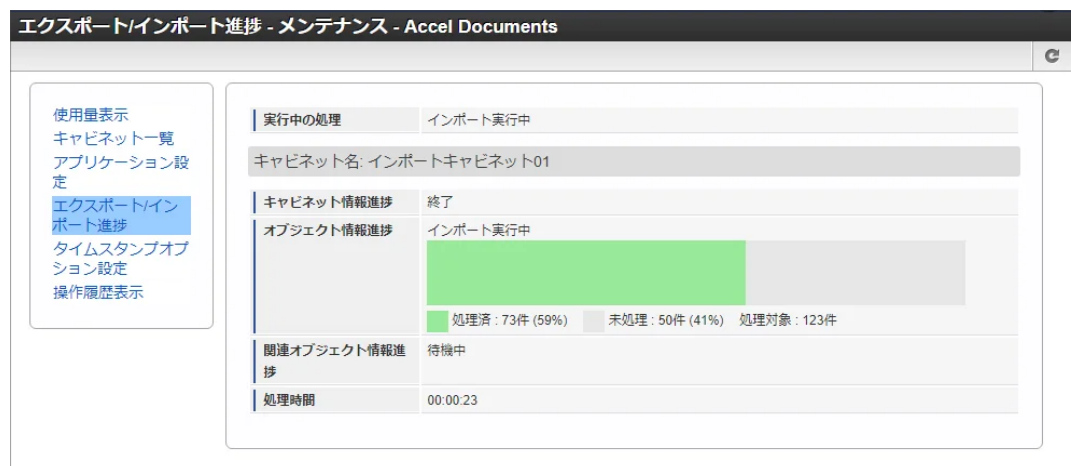
9. intra-mart Accel Documents

Accel Documents アップデート内容

対応内容

操作性改善を目的に主に下記要件を対応しています。

- エクスポート/インポートの進捗表示部分に関して、全体の進捗状況を表示します。
- IMBoxを使用しない構成では、通知方法の選択肢であるIMBoxを非表示にします。
- 作成者権限が無効の場合、一括操作メニューの削除を非活性にします。



エクスポート/インポートの進捗表示

- 当資料はアップデートの主要トピックスに限定した説明資料です。
アップデートに関する情報は要件情報公開サイトをご参照下さい。
<https://issue.intra-mart.jp/>
- システム要件や制限事項につきましては各製品のリリースノートを必ずご確認ください。
<https://www.intra-mart.jp/document/library/>



ご質問等ございましたら、下記へお問い合わせください。

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・イントラマート
セールス&マーケティング本部
電話番号: 03-5549-2821
E-mail: contact@intra-mart.jp